

学校心理士

①資格について

心理学専攻では以下の条件を満たすことにより学校心理士あるいは学校心理士補の受験資格を取得できます。学校心理士は学会連合資格「学校心理士」認定運営機構（以下、「認定運営機構」）が認定している資格です。申請に際しては、下記の Web サイトにて最新情報を必ず確認し、時間に余裕をもって書類をそろえ、提出してください。

Web サイト	学校心理士認定運営機構 http://www.gakkoushinrishi.jp
---------	--

学校心理士の認定を申請するためには、学校心理学関連の大学院修士課程において、学校心理学に関する所定の領域に属する科目の単位を取得していなければなりません。法政大学人文科学研究科では心理学専攻が学校心理学関連の修士課程とみなされます。他専攻については、その都度、「認定運営機構」の承認を得ることが必要となります。専攻によっては、心理学専攻の科目を取得しても受験資格が得られないこともありますので、ご注意ください（あらかじめ「認定運営機構」に相談することをお勧めします）。

受験勉強には「認定運営機構」が販売している『学校心理学ガイドブック』などが役に立つと思われます。なお、学校心理士は“職業”ではありません。資格の取得が就職を保証するわけではないことをご理解ください。

その他、学校心理士に関する質問は担当教員までお願いします。

②申請条件について

・「新基準」による申請条件（2011 年度以降入学者適用）

当心理学専攻 2 年次において申請する場合は、原則として「類型 I - 見込み」で申請します。修了後に申請する場合は、原則として「類型 I」での申請となります。2017 年度より、これらの申請類型の条件が実務経験などの点で緩和され、「学校心理士補」ではなく、「学校心理士」として申請することが可能となりました。この変更に伴い、「学校心理士補」は 2017 年度を最後に廃止されることになります。詳しくは、「認定運営機構」の Web ページを参照してください。

心理学専攻では「新基準」のうち、授業により 10 科目（合計 60 ポイント以上）を、認定可能な授業科目として提供します。

<注意事項>

- ・ 学校心理士の資格取得を希望する学生は、この件に関するガイダンスに必ず出席してください。ガイダンスは 4 月に開催される新入生オリエンテーションにて行われます。
- ・ 申請時には本要項の「学校心理士」のページと、取得した科目のシラバスのコピー（その科目を履修した年度のもの）が必要です。
- ・ 法政大学文学部心理学科を卒業した学生で在学中に大学院の対応科目を履修し、単位を取得したことを示す「RR」（2018 年度までは「R」）認定を申請し、受理された場合にはその単位を申請に適用することが可能です。

今年度開講される申請可能な授業（「新基準」における対応表）

学校心理士・補取得のために必要な科目	必要ポイント数	対応する授業科目の内容とポイント数	担当者名	授業科目単位数
1. 学校心理学	5	教育心理特論：5ポイント (1) 学校心理学とは (2) 心理教育的援助サービスのモデル (3) 学校心理士の活動 (4) 教師・保護者らとのチーム援助 (5) 学校心理士の倫理	平山祐一郎	2
2. 教授・学習心理学	5	学習指導特論：5ポイント (1) 学校教育の基盤としての教授・学習心理学 (2) 記憶と理解 (3) 動機づけ (4) 学習指導と授業 (5) 学級集団とその組織化	藤田 哲也	2
3. 発達心理学※	5	発達心理特論：4ポイント (1) 学校教育の基盤としての発達心理学 (2) 認知・思考の発達 (3) 自己意識の発達 (4) 社会性の発達	渡辺 弥生	2
		言語心理特論：1ポイント (5) 言語の発達	福田 由紀	2
4. 臨床心理学	5	精神保健特論：5ポイント (1) 学校教育の基盤としての臨床心理学 (2) 心と行動の問題 (3) 多様な臨床心理学アプローチ (4) 学校における児童生徒の問題 (5) 心理臨床等の専門家と専門機関	高橋 敏治	2
		臨床心理特論：5ポイント (1) 学校教育の基盤としての臨床心理学 (2) 心と行動の問題 (3) 多様な臨床心理学アプローチ (4) 学校における児童生徒の問題 (5) 心理臨床等の専門家と専門機関	中村 玲子	2
5. 心理教育的アセスメント	5	心理教育アセスメント特論：5ポイント (1) 心理教育的アセスメントとは (2) 心理教育的アセスメントの方法 (3) 心理検査の活用 (4) 学級・学校のアセスメント (5) 教育評価	杉山 崇	2
6. 学校カウンセリング・コンサルテーション	5	学校コンサルテーション特論：5ポイント (1) 学校カウンセリング・コンサルテーションとは (2) カウンセリング (3) コンサルテーション (4) コーディネーション (5) 学校カウンセリング・コンサルテーションの実践上の諸問題	島宗 理	2
7. 特別支援教育	5	障害児心理特論：5ポイント (1) 特別支援教育とは (2) 障害の概念と特別な教育ニーズ (3) 実態把握と相談支援 (4) 個別の指導計画と個別の教育支援計画 (5) 校内委員会と支援体制	奥田 健次	2

8. 生徒指導・教育相談、キャリア教育	5	生徒指導特論：5ポイント (1) 生徒指導とは (2) 生徒指導の体制と諸問題 (3) 教育相談の意義と内容 (4) キャリア教育の意義と内容 (5) キャリア教育の具体的な展開	小澤 真	2
---------------------	---	--	------	---

※3. 発達心理学に関わる5ポイントを得るには「発達心理特論」(4ポイント)と「言語心理特論」(1ポイント)の2つの授業科目を修得することが必要です。

学校心理士・補取得のために必要な科目	必要ポイント数	対応する授業科目の内容とポイント数	担当者名	授業科目単位数
実習1. 心理教育的アセスメント基礎実習	10	心理教育アセスメント演習：10ポイント (1) 個別心理検査の実施 (2) 結果の解釈 (3) 指導案の作成	熊 仁美	2
実習2. 学校カウンセリング・コンサルテーション基礎実習	10	学校カウンセリング演習：10ポイント (1) かかわりづくりに関するグループ実習 (2) 傾聴実習 (3) カウンセリング・プロセスや自己評価、コンサルテーション、コーディネーションを含めた総合実習	渡辺 弥生	2